

社会福祉法人 広島友愛福祉会

2025 年度（令和 7 年度）事業方針・事業計画骨子

2024 年度は収支状況が改善された。次年度もこの状況を継続することが必須である。そのため、2025 年度の最優先方針も、黒字決算の必達とさらなる収支差の確保とする。

次に、サービスの向上に力を入れる一年とする。入居者・利用者に快適なサービス提供ができるよう、今一度現状のサービスを見直す。また、スタッフの認知症の理解・接遇の向上等のスキルアップを図る。スタッフ一人ひとりが、入居者・利用者を一番に考えて業務を行うことを再認識し、体制整備等を含めて法人全体でサービスを向上させる。

加えて、2024 年度に引き続き、地域との交流を継続・発展させていきたい。

= 事業計画骨子 =

I. 黒字決算の必達・さらなる収支差の確保

- ① 各事業所の数値目標を常に認識し、目標達成のための方策を継続的に検討、実施する。
- ② 各事業所の特長や強みを認識し、地域社会に発信していく。
- ③ 各事業所同士の情報交換を円滑に行い、新規入居者・利用者の獲得を法人全体で行うとともに、合理的可能な事業内容の点検を推進する。

II. 入居者・利用者へのサービスの向上

- ① 現状のサービスを点検し、問題点を改善していく。
- ② 認知症の理解・接遇の向上等、スタッフのスキル向上を図る。
- ③ 事業所間の人事・事業交流を実施し、緊急時対応等には法人全体で対応可能とする。

III. 地域とのつながりの継続・発展

- ① ゆうあいふれあい夏まつり等を継続し、地域のイベントに積極的に参加することにより、施設の PR に努める。
- ② 保育園・小学校・中学校・高校との交流を継続することにより、将来の人材確保に努める。
- ③ 民生委員・児童委員等、地域住民との交流を発展させ、支援・協力体制の充実に努める。